



基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 19

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物は適正業者と「建設廃棄物処理委託契約書」を結び適切に処理し、マニフェスト伝票を保管している			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事業所の電力使用量を15年以上記録、把握しており、早くから照明器具のLED化や、省電力エアコンへの更新を行っている 事業活動温暖化対策実施状況報告書を提出している							7.3					13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		事業活動温暖化対策計画制度に基づく事業活動温暖化対策実施状況報告書を提出している		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業活動にて利用する資材購入については、エコパッケージ品を選定して生物多様性保全に取り組んでいる						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		事業活動で利用するパソコン等を中古、再調整品を利用する事でリユースに取り組んでいる									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		事業所内設備を節水器具に更新し水資源の保全に取り組んでいる		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		当社で使用する、製品・資材等はグリーン購入法に適合した商品を購入している。また、事務用品に関してもエコマーク商品を購入・利用している									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		社屋花壇や植栽の手入れを行い、緑化部分の保全、管理を継続して行っている												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		太陽光パネルや給湯設備(電気温水器→エコキュートへ更新)を設置し、オフィスの節電に取り組んでいる							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		平成18年阿蘇郡西原村俵山地内一部に「九設の森」広葉樹1600植樹、毎年下草刈り活動を従業員と関係者で行い、持続的な森林利用への取組を推進している						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		森林整備活動(下草刈り作業)に参加している						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		来客者への飲み物への、ストローの利用を廃止している												12.2 12.5			14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		事業活動で使用する車両はハイブリッド車の採用及び遠方への移動は、電車利用を促進している									9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		節電に積極的に取り組んでいる 毎年、事業環境温暖化状況報告書を提出し、意識を高めている							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2		

